

なぜ、今エリクソンの
「キリスト教神学」なのか
- その問題意識と今日的意義 -

エリクソン博士をお迎えしての
「関西講演会」レジュメ
関西聖書学院：2003.3.12
一宮基督教研究所：安黒務

シカゴ・コール：序文


1. 聖書による**神の啓示**に忠実であるか
2. われわれ**自身の弱点**に敏感であること
3. 歴史的キリスト教信仰を**縮小変形**させて
4. 自らの**成熟の達成**を妨げられている
5. それゆえ
6. 聖書的歴史的信仰の**本質**を再考し、
7. その遺産の豊かさを**再発見**することが必要

真性な福音主義神学の特質

1. 聖書的適格性
2. 正統信仰の共同性
3. 現代的適応性
4. 自己革新性



特異なメンタリティ

1. 原始主義
 2. 二元論的思考
 3. 聖書主義
 4. 伝道至上主義
 5. 文化との対立的見方
 6. 反知性主義
 7. 分離主義・自己閉鎖的・自己防衛的体質
- 

新福音主義運動 (A. マグラス)

1. リベラリズムとファンダメンタリズムの闘争
2. リベラリズムの上昇気運を阻止せず、思想界に影響与えず、社会問題と取り組まず
3. 両者の弱点を克服する、一つの明確な選択肢としての福音主義の出現
4. 正統的キリスト教を妥協せずに擁護
5. 堅固な神学的学識と福音の使信の社会的適用への献身
6. 知的にも尊敬できるキリスト者の選択肢

ポスト・ファンダメンタリズム的 福音主義(宇田進)

1. 第二次大戦後
2. ファンダメンタリズムの分離主義・反知性主義・他界主義などの諸問題を克服しながら登場
3. より公共性と現代性を具備した福音主義の流れ
4. 全米福音主義同盟 (NAE: 1942-)、カール・ヘンリー「クリスチャニティ・トゥデイ」(1956-)

エリクソン著「新福音主義」

1. 博士論文 処女作“New Evangelical Theology”
2. 歴史的発展(第1章 概要)

正統主義への脅威

根本主義の反応

新福音主義の出現

要約

新福音主義運動のひとつの結実 エリクソン著「キリスト教神学」の 主題と強調点:ドッケリー論文

1. 聖書的教理を**基盤**とした一致
2. 両サイドの人が「**意味ある神学的対話**」を探求しうる**地点**で信仰を再評価
3. 今日の**時代の必要**に関連づけられ
4. 過去の生きた**正統主義との連続性**にあり
5. 後代のファンダメンタリズムとは**区別**され
6. **正統的**キリスト論と聖書観に結び合わされている**一揃い**の関心と態度

書評(パネンベルク)

1. 聖書を**基盤**とし、
2. 現代の哲学的・神学的**業績**とともに
3. 教会の**伝統**との対話を継続している
4. 真に**学究的**なキリスト教教理の提示
5. 聖書の**靈感**と**無誤性**を主張しつつ
6. 議論はファンダメンタリストのようではなく
7. すべての人々に**開かれて**おり
8. 歴史的批評的解釈にも**関心**を払い
9. 福音主義的概略の**優れた**実例と
10. 他の神学的立場との**対話のための基盤**を据えています

エリクソン神学を教えてみて (安黒務)

1. 宇田神学... 信仰の歴史的ルーツ・アイデンティティを**立体的**に探求する**歴史神学マニュアル**
2. エリクソン神学... 保有する福音理解を正しい手順で**分解**し、「**縮小変形**」箇所を**修理**し、**バージョンアップ**して、**再び組み立て**ることを可能にする**組織神学マニュアル**
3. ある立場・特定の理解(バプテスト)を**押し付ける**ものではなく、それぞれの教派の理解を**尊重**し、**選択肢を提示**し、**聖書性・公同性・現代性・自己革新性**をもった教派の神学へと**バージョンアップ**する**手助け**をする**マニュアル**
4. 片手に「**エリクソンのキリスト教神学**」をもち、**他方の手**に「**それぞれの教派の組織神学**」をもつと**良い**

教派性と共同性(泉田昭)

1. 信仰の排他的強調によりアイデンティティ確立
 2. 他との違いを強調することにより存在意義を明確化
 3. その結果
 4. 全体としてまとまりのない無政府状態
 5. 交わりと協力の声
 6. 教派レベルの独自性と共同性の課題
 7. 教派性を否定せず、尊重しつつ、それぞれが真の共同の教会の一部であることを認識しよう
 8. 「共同性を目指す」とは、教派性を否定するのではなく、むしろそれを止揚するのである
- 「キリスト教神学」は、“教派性”止揚マニュアルである

「キリスト教神学」の問題意識・今日的意義をさらに掘り下げるための重要参考文献リスト

■ 英国のA. マグラスの著作

- 「キリスト教の将来と福音主義」いのちのことば社
福音主義の再興、特徴、主張、理想像の喪失、霊性の探求、問題点、将来について - 「福音主義」の輪郭を知ることができる
- 「キリスト教の将来」教文館
西洋での危機、他の地域での再形成、西洋での未来、諸問題、概観、学究的神学への幻滅の課題 - 「キリスト教全体」についての動向についての分析と洞察

■ 日本の宇田進の著作

- 「福音主義キリスト教と福音派」いのちのことば社
特異なメンタリテイ理解のための歴史神学マニュアル
- 「総説 現代福音主義神学」いのちのことば社
「キリスト教神学」の周辺領域の議論を理解するための現代神学マニュアル